

[ピラミッドだより]

飼料添加物としてのコリスチンの影響評価

園 田 昭 浩 (株シムコ)

All about SWINE 53, 38

改正飼料安全法が施行され、飼料添加物としてのコリスチンの使用が禁止されました。弊社取り扱い飼料については、概ね2018年4月以降、非コリスチン飼料に変更されています。弊社の事業所は東北から九州まで、6事業所ありますが、内2事業所は直近1年間で飼育形態が大きく変化しておりますので、4事業所の生産状況を報告いたします。

飼料添加物コリスチンを禁止することで、代替物として、各種検討されていますが、弊社取り扱いの飼料メーカーは、事業所ごとに異なりますが、主に①プロピオン酸への変更、②ギ酸または二ギ酸カリウムへの変更、又は増量、③アピラマイシンへの変更、④枯草菌の添加などの対応をしています。豚への給与時期は人工乳前期から人工乳後期までの体重が30kg以内の子豚に給与しています。そこで、飼料添加物としてのコリスチンが生産性に影響しているかどうかを、a) 体重、b) 離乳以降の事故率、c) 生産現場への聞き取りで評価してみました。

a) 体重

全体の傾向は、目立った変化はなく、これまでと差がありません。個別の事業所ごとで

見ると差が出ているところもありますが、季節や収容頭数の微増減によるものと思われません。

b) 離乳以降の事故率

全体の傾向は、目立った変化はなく、これまでと差がありません。個別の事業所ごとで見ると差が出ているところもありますが、季節や収容頭数の微増減によるものと思われません。

c) 生産現場への聞き取り

現場担当者の感想は、どの事業所でも目立った変化はなく、これまでと差がありませんとの回答でした。

【考察】

今回の調査結果からは、コリスチン添加の中止が生産性や豚の状態に及ぼす影響を判断するのは難しいと思われます。また、他の添加物に代替えたことで大きく崩れることがなかったかもしれませんが、この数か月の比較からは判断できないので、今後、年間を通じての調査が必要と思われます。